

## 第一節 遺跡、遺物の概要

### 1 概要

田畑の耕作や開墾の際に出た土器（土器片）、石器、矢ノ根石と称される石片などの確認は古いことであり、愛好者によって収集されていたが、一般的に有史前の生活用具として確認され、学問的にその領域が急激に広まったのは昭和二十年以降の事である。

第二次世界大戦に日本は敗れ、樺太、朝鮮、満州、台湾に移住していた人々及び戦争のために派遣されていた軍人、軍属が続々と帰ってきた。戦争による食糧の欠乏と、引揚者による人口の増加は、先ず食べることを先決とした。このため既耕地の増産は勿論であるが、利用される限りの空地、山野の開墾を余儀なくされた。山野特に山麓の開墾の際、多くの石器、土器の出土を見た。学問としては考古学、中等教育においては社会科の中で、原始時代の内容が明らかにされてきたために、石器、土器に対する人々の関心は非常に高くなった。しかし、これと同時に遺跡の破壊と、遺物の散逸という事態を生じたのである。

遺跡のある位置は、最上川左岸では河岸段丘上、及び山麓地帯の河川の近くが主であるが、最近の圃場整備などにより、第一湧水地帯、第二湧水地帯でも確認されている。ただどうしたことか東西高玉地区で、全くといってよい程発見されていなかったが、その後八元田と南田で遺跡が確認された。最上川右岸では、最上川流動地帯の平地を除いた全域にあり、浅立、萩野などで等高線三〇〇メートルから五〇〇メートル附近にあること、広野地区で東根小学校西方の低地にあることが特徴的である。

後述するが、白鷹町内ではいまだ無土器時代の遺跡、遺物は正確に確認されていない。今後意を用いる必要がある。又、弥生時代としての遺物は確認されているが、遺跡の確認がない。

## 2 確認された遺跡と遺物

昭和三十六年の一斉調査で確認された遺跡、遺物と、その後確認されたものは第2表に示す通りである。

第2表：遺跡と遺物

蚕桑地区					遺跡名	所在地	地目	立地	種別	編年	出土品	出土品の所在
蚕桑高野	横田尻 中道端五五〇三	水田	平地 二三〇m	縄文 集落址	大木八 大木九	打斧、匙	高橋剛					
中町西	横田尻 中町西一三二三	畑	台地 二〇〇m	縄文 集落址	大木八 大木九 大木十	打斧、鏃	金沢寺					
十二堂	横田尻 十二堂	畑	平地 二八〇m	縄文 集落址	大木八 大木十		金田重雄					
蚕桑山神	山口 南沢	山林	山腹 三二〇m	縄文 集落址	大木九	打斧、鏃、匙	中川亘					
生野原	横田尻 東生野原一七三二	畑	台地 二〇〇m	縄文 集落址	大木九、 大木十、 大木九、 大木十、 大木九、 大木十		蚕桑小学校					

遅 沢	姫 城	高 田	乳 蔵	池 端	道 家前	中 ノ山	上 ノ台	高 野	山 神	金 沢寺裏	西 館	柳 沢	経 塚	黄 壇	中 谷地	畑 中
遅高 沢玉	荒山 井口	高横 田田 三尻	乳横 蔵田 尻	池横 端田 一尻	道横 家田 前三尻	中横 ノ田 山尻一	上横 ノ田 台尻	高横 野田 七尻	山横 田田 神尻	中横 町田 西尻	西横 館田 乙五 二四 八尻	柳山 沢口 三八 〇六	白横 ケ田 沢尻 七二 一〇	黄山 壇口 七一	中山 谷地 四九 五〇	畑山 中口 道下
畑	畑	水田	畑	水田	水田	山林	公園	宅地	畑	畑	水田	畑	畑	畑	畑	畑
	平地 二六〇 m	平地 二四〇 m	平地 二四〇 m	平地 二七〇 m	平地 二七〇 m	山腹 二八〇 m	台地 二九〇 m	平地 二五〇 m	山腹 二九〇 m	台地 二〇〇 m	平地 二三〇 m	山麓 三二〇 m	山腹 二八〇 m	低湿地 二〇〇 m	台地 二五〇 m	台地 二一〇 m
单縄 独文	单縄 独文	集縄 落址	单縄 独文	单縄 独文	縄文	单縄 独文	?	集縄 落址	集縄 落址	集平 落安 址	单縄 独出 土	集縄 落址	集縄 落址	集縄 落址	集縄 落址	集縄 落址
	晚期	晚期	中期 ?		晚期	中期 ?	?	中期 ?	中期 ?	晚期、 須惠器	晚期	中期	中期	中期	中期 ?	大木十
打石斧	両頭斧	片磨斧、匙、鏃、土器	打斧	打斧	土器片	匙	搔器	打斧、匙、土偶	土器片		石棒(安)		鏃、匙、打斧、土器片	打斧、鏃、匙	鏃(玉)、匙、槍	匙
金 沢 寺	植 木 栄次郎	金新 田野 富章	金田 章	金田 章	金田 章	金田 章	金田 章	金田 茂助	金田 章	金 沢 寺	金 沢 寺	金 子 利 重	金蚕 桑小 学章校	高石 栄作	犬飼 豊松	犬飼 豊松

													鮎貝地区		
唐松 B	唐松 A	森合	五味屋敷	腰廻	蟹沢	飯詰	八幡二	西向二	八幡二	八幡一	森合	西向一	小四王原	八幡台	鮎貝 八幡台一〇五九
			深山 五味屋敷	深山 腰廻	深山 蟹沢一五八一	鮎貝 飯詰台一八〇	鮎貝 八幡台一〇五九	深山 西向三九五二	鮎貝 八幡三	鮎貝 八幡一五五	鮎貝 赤土五二七	深山 西向三九五二	鮎貝 外ノ王山二七九		
畑	畑	畑	山林	水田	宅地	畑	畑	山林	畑	畑	畑	水田	原野	畑	
台地	台地	山麓 二五〇m	山麓 二八〇m	山麓 二四〇m	段丘 二四〇m	台地 二二〇m	台地 二二〇m	段丘 二六〇m	平地 二二〇m	台地 二二〇m	台地 二四〇m	段丘 二六〇m	台地 一八〇m	台地 二二〇m	
縄文	縄文	縄文	縄文	鎌倉 窯址	陶器 窯址	古墳 集落址	弥生 集落址	縄文	縄文 集落址	縄文 集落址	縄文 集落址	縄文 集落址	縄文 集落址	縄文 集落址	
	晩期	?	晩期?		平安・鎌倉?	土師?	弥生?	中期	大洞 C <sub>1</sub>	里浜	中期?	大木九、大木十	大木九、大木十	室浜、大木四、大木七、大木八、大木九、大木十、大洞 B・C <sub>1</sub> ・C <sub>2</sub>	
石器	土器片、石器片	打斧、匙	土器下部	施釉土器	施釉			匙、打斧	鏃、匙、小鉢	打斧、鏃	鏃	打斧、鏃	片打斧、鏃、匙、土器	打斧、鏃、匙、土偶	
		金田章	今隆史	舟橋惣三郎	鮎貝小学校	金沢寺	板垣清次	金田章	蒲生伊三	蚕桑小学校	山口弥太郎	羽田藤雄	白鷹町教育委員 会芳賀彦三郎	鮎貝小学校	

中十王	下田下	釜場	関寺	大豆田下	花在家	中十王1	玉井	十王地区				深山	愛宕山	荒砥	深山	菖蒲	菖蒲	石那田	荒砥地区
中十王四六一四	下田下	釜場三四七八	関寺三八九九	大豆田下五二〇〇	花在家四七八	中十王四六一四	愛宕坂東五九七六	深山四〇一	荒砥甲	所峽三一七二	荒砥乙	深山四〇五	菖蒲	藥師堂裏	中屋敷一三〇三	南上野三七一	荒砥甲	荒砥地区	
畑	畑	畑	畑	畑	水田	畑	畑	畑	山林	畑	畑	畑	畑	畑	畑	校地	畑	畑	
台地 二六〇m	平地 二三〇m	台地 二〇〇m	山腹台地 二四〇m	台地 二四〇m	段丘 二六〇m	台地 二六〇m	山腹 三二〇m	段丘 二二〇m	山麓 二四〇m	台地 二四〇m	台地 二〇〇m	台地 二〇〇m	台地 二〇〇m	台地 二〇〇m	台地 二四〇m	台地 二四〇m	台地 二四〇m	台地 二四〇m	
古墳 集落址	縄文 集落址	縄文 集落址	縄文 集落址	縄文 集落址	縄文 集落址	縄文 集落址	縄文 集落址	平安 集落址	窯 址	奈良 集落址	弥生 集落址	縄文	縄文 集落址	縄文 集落址	縄文 集落址	縄文 集落址	縄文 集落址	縄文 集落址	
土師?	中期	中期?	大木九	大木八	大木八、 大木九、 BC・C <sup>1</sup> ・C <sup>2</sup>	大木九	大木七、 大木八、 大木十	須恵	須恵前	天王山式	中期	大木九	大木八	大木九	大木八	大木八	大木八	大木八	
	斧	打斧、鏃、匙	打斧、鏃	打斧、鏃、匙、劍					線條式片その他	破片	平凹石	打斧、鏃	土偶、貝殻、炉址	打斧、鏃	打斧、鏃、匙、磨斧	打斧、鏃、匙、磨斧	打斧、鏃、匙、磨斧	打斧、鏃、匙、磨斧	
平吹利昭	荒川幸一	平吹利昭	佐藤七二	渋谷佐次郎	加藤実	平吹利昭	平吹利数	高橋竹松	工藤浅吉	山大教育学部	竹田よし	安久津久造	山大教育学部	安久津久造	山大教育学部	山大教育学部	山大教育学部	山大教育学部	

堤ノ入	中杉小 路沢	仙香	太郎山	金池入	中丸	浅立外山	小山	八ヶ森	東根地区	烧野下	中堀	御萩沼野	原川	萩野浜	萩野松	鷹山地区
堤ノ立 入四五八〇	浅小藤 路一三三	仙香藤 五四四八	太郎藤 山	金池藤 入	中丸藤 五八九一	浅立外 山三四五二	小山立 二四九一	浅立八 ヶ森四二二五		烧野中 山下	中堀中 山二七六六	上萩野 窪	原川萩 野三一九八	萩野萩 野三二四六	村松滝 野三二六七	
畑	畑	畑	山林	畑	畑	畑	畑			畑	畑	畑	校地	畑	畑	
山麓 二二〇m	山麓 二八〇m	山麓 二〇〇m	山麓 二六〇m	山麓 二〇〇m	山麓 二七〇m	山麓 二一〇m	段丘 一九〇m	山腹 三四〇m		山腹 四四〇m	台地 三八〇m	山麓 三六〇m	山麓 三二〇m	山腹 五一〇m	山腹 四六〇m	
集縄 落文 址	集縄 落文 址	集縄 落文 址	集縄 落文 址	集縄 落文 址	集縄 落文 址	集縄 落文 址	集縄 落文 址	集縄 落文 址		单古 独墳 出土	集縄 落文 址	集縄 落文 址	集縄 落文 址	集縄 落文 址	集縄 落文 址	
大洞 A	中期	中期	中期	中期 ?	中期 ?	中期 ?	中期 ?	大木 九		土師	中期	中期 ?	大木 大木 八	中期 前期	大木 八	
	鏃、石斧、石ベラ	打斧、鏃	打斧、鏃、槍	鏃	打斧	鏃	打斧、鏃、匙、槍	打斧			打斧	匙	打斧、鏃、匙	打斧、匙	打斧、鏃	
菊地 藤兵衛	中村 三雄	太田 明彦	永泉 寺	元東 根中 学校	渋谷 藤太	太田 明彦	太田 明彦	菊地 藤兵 衛		中山 小学 校	元鷹 山中 学校	萩野 小学 校	元鷹 山中 学校	萩野 小学 校	竹田 利夫	

蚕桑地区(追加)	
八元田	南田
高玉、八元田	高玉、南田
水田	水田
段二丘 一〇〇m	段二丘 二〇〇m
須繩文 恵	繩文
	晩期
土器、石サジ	土器
	今野善七

下在家	宮在家	金池	馬冷場	元浅ノ沢立	地藏峡
	畔藤 宮在家	畔藤 田中	浅立 馬冷場四六六三	浅立 薬師入四七九二	浅立 地藏峡
水田	水田	宅地	畑	畑	畑
	台地 二〇〇m	台地 二〇〇m	山麓 二五〇m	山麓 二五〇m	山麓 二三〇m
繩文 単独	古墳	繩文 集落址	繩文 集落址	繩文 集落址	繩文 集落址
		中期	里浜式	?	?
打斧	須恵器、皿	完形土器		打斧	
衣袋七郎	衣袋七郎	吉田善一	渋谷藤太	菊地藤兵衛	菊地藤兵衛

第二章 原始時代  
 第一節 遺跡、遺物の概要

